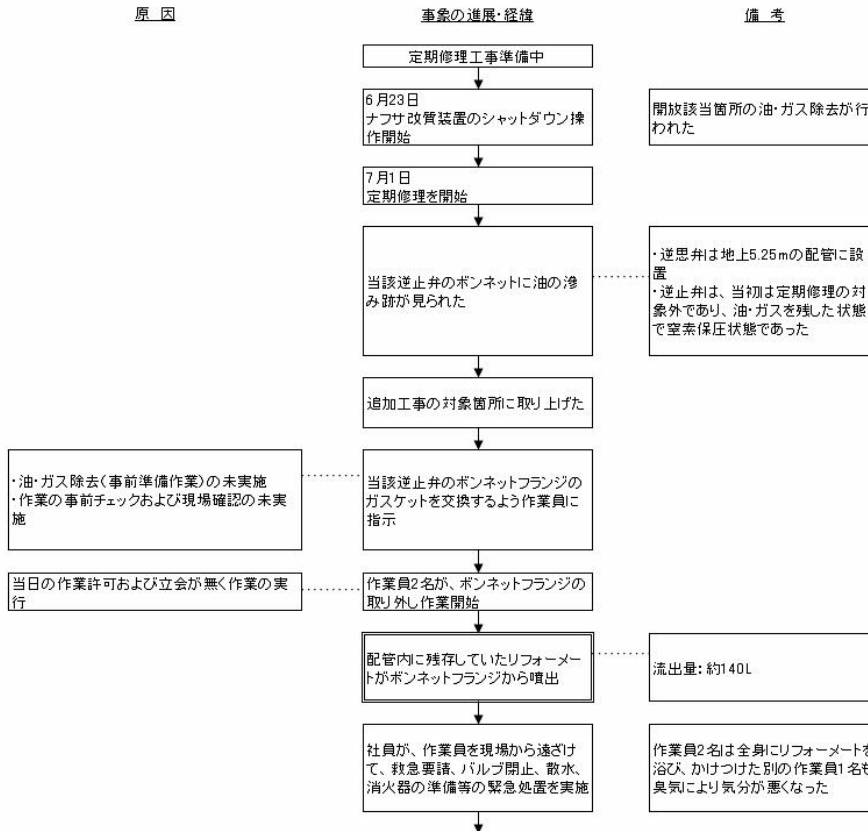




定期修理時に逆止弁のボンネットフランジをはずし、改質油噴出

事象進展図

00487	定期修理時に逆止弁のボンネットフランジをはずし、改質油が噴出
発災年月日	2008年7月3日
装置	ナフサ改質装置
運転状況	定期修理工事中
特徴	開放工事の変更のPDCAが回らず内圧のあるまま開放し、油が噴出事例



再発防止策
1、整備工事期間中において、前日に予定された作業以外の作業の禁止 2、作業許可システム強化および作業依頼書の様式見直し 3、作業許可および立会等に関する教育の徹底 4、保圧系統図、油・ガス除去系統図等の共有化(全作業員に対して周知)
安全専門家コメント
1、今回のような整備工事における事故は、環境設定、作業内容等について、グループ間でのコミュニケーションの実施、協力会社を含めた関係者全員への周知徹底などが不足したために起こった典型的な事例である。また、作業許可および立会等について、それらがなされない状態でも工事が実施されてしまったことは、施工管理に対する緊張感不足・責任感不足・教育不足と言われても弁解の余地はない。2、追加工事が出た場合、マネジメントサイドの十分な変更管理に対する指導の徹底が伴わなければ、このような事故が起きても不思議ではない。何かを変える時には、常に予期せぬ危険性が生じることを肝に銘じ、再度、変更管理のPDCAを徹底して回す視点とその指導が重要である。

引き金事象発生の原因
・油・ガス除去(事前準備作業)の未実施 ・内圧および内液がある状態でバルブボンネットを開放したこと ・口答追加指示作業を無許可で実施したこと

事故の引き金事象
内圧がある(生きている)状態の開放による油噴出

事故に関連した直接・間接要因
《情報要因》 指示・伝達不足 《管理・運営要因》 変更管理制度の不備・不十分



定期修理時に逆止弁のボンネットフランジをはずし、改質油噴出

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

消防

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

🔑 変更管理

🔑 作業許可

🔑 弁 > バルブ

🔑 コミュニケーション

🔑 立会

🔑 現場確認

▶ 関連情報